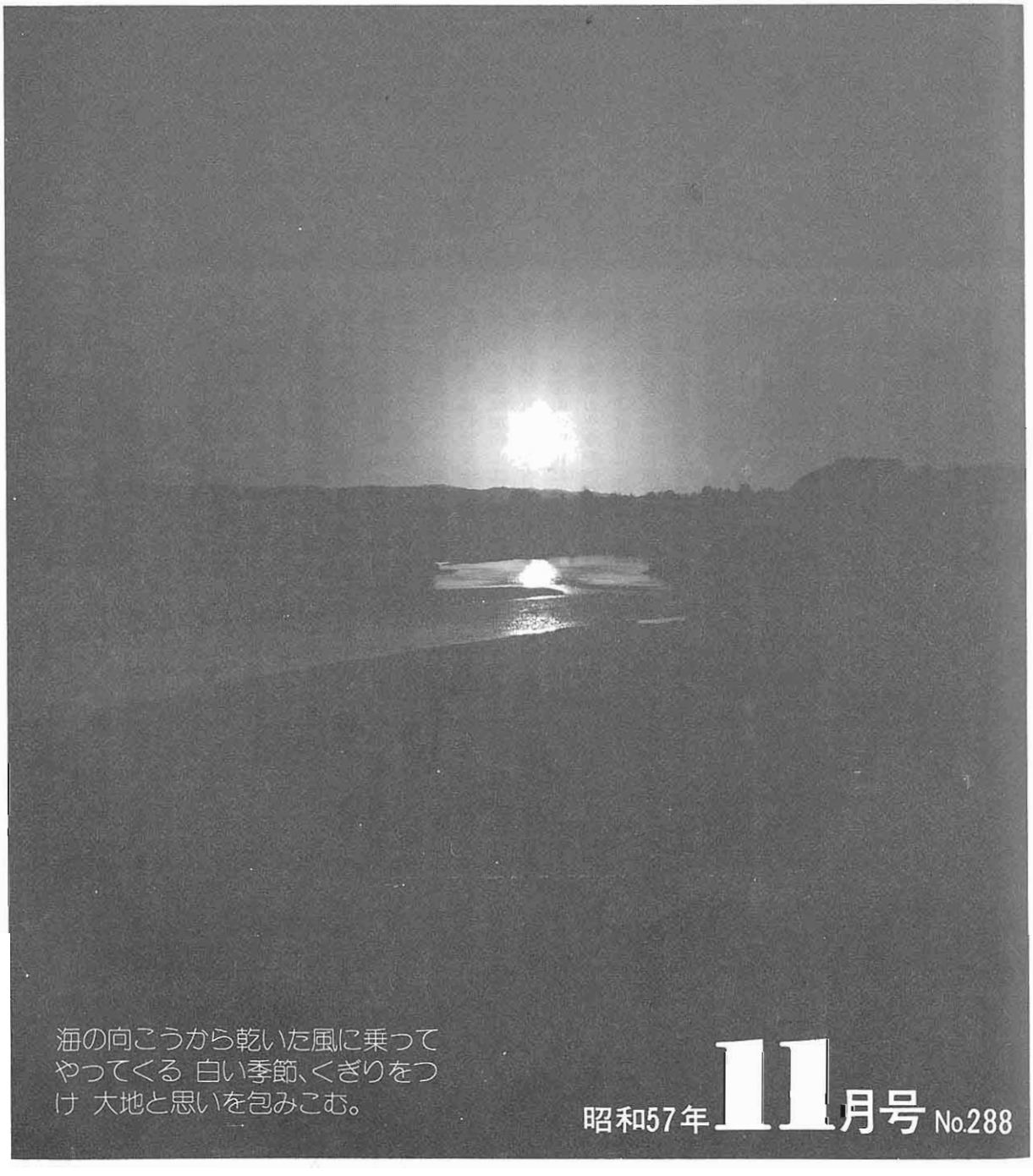
広報 いまかね

教養をたかめ楽しく生活できる平和な町にいたしましょう。(今金町民憲章)



海の向こうから乾いた風に乗って
やってくる 白い季節、くぎりをつ
け 大地と思いを包みこむ。

昭和57年11月号 No.288

いよいよはじまるダム工事



美利河ダム堤体建設工事着工祈願祭

美利河ダム本体工事着工にさきがけて、祈願祭、祝賀会が十一月十二日に美利河において催されました。

後志利別川は、美利河からはじまり、日本海に注ぐ一級河川であります。流域面積七二〇平方㌔、流路延長一五〇㌔を有し、沿岸一帯は、今金町の歴史は古く、寛永十一年頃の日光東照宮御営用砂金採集が始まりとなり、本格的には、明治末期から昭和初期にかけ開拓が進み、道南の優良な農耕地として発展を続けてきたところです。

この河川の改修は、昭和初期の相次ぐ大洪水を契機にして、築堤工事を中心に進められてきたところです。

昭和四十四年に一級河川に指定を受け、治水計画のみなおしにより後志利別川水系工事の基本計画が決定の運びとなり、予備調査が開始されました。

昭和五十年度に実施計画調査が、昭和五十四年度から建設に着工、用地取得、家屋の移転などが実施されてきたところです。

ダムの本体工事は、今年度着工し、昭和六十二年度完成を目途に進められることになり、ダムの型式は、道内でも珍しい重力式コンクリートとロックフィルの複合型で、コンクリート部は、ダムの合理化施工を目的とし、コンクリートダムの堅牢性にフィルダムの施工性を加えた、R・C・D、工法を採用されたものです。

堤頂長は、一、四八〇㍍、内コンクリート部九一〇㍍、ロックフィル部五七〇㍍、満水面積一、八五平方㌔、総貯水容量一、八〇〇立方㍍の施設となります。

美利河ダム完成によって、洪水調整、流水の正常な機能の維持、かんがい用水の確保、農用地開発事業や、土地改良事業の実施が推進されるとともに、ピリカ発電所の建設によって、四、〇〇〇㌔㍗の発電がされるなど多目的ダムとして誕生、昭和五十四年度からの移転補償等を含めて、総事業費二三〇億円をもって建設工事がスタートすることになりました。

その他、関連して町単独事業計画については、広報十月号に掲載したようなことを予定しております。

村本光夫さんから「三年連続の凶作に伴う農家負債整理対策について」、負債の集積が一千万円にも達している。農協のプロパー十、五%の高率でありこのままでは農家が経営を放棄せざるを得ない状況下にあること。長期でしかも低利の資金導入及び枠の拡大対策を推進してほしい。

大場　功さんからは「水稲冷害対策について」、三年連続の冷害、特にキタヒカリの打撃が大きく深刻であり、地元対策として限度であることから、長期低利の資金導入にご配慮願いたい。

渡辺二郎さんから「農地流動化の促進による農地銀行（仮称）創設について」、農業近代化は、圃上課題でありますが、離農するにしても土地売却が問題となります。

次代を担う後継者においても土地価格の高騰による流動化が阻害され、これが促進する方法として農地銀行（仮称）的なものを創設、制度化し促進してほしい。

伊藤綱義さんから「林業事業振興対策について」、森林資源の積極的に開発促進するための山林所有者と分収契約の特別措置及び道として、公社等の設置により分収造林を推進するなど抜本的施策を要望したい。

高橋政子さんから「檜山婦人教育推進のための婦人研修会館の建設について」、社会経済の進展に伴い、婦人の役割は極めて重要であり、このため、管内には婦人の研修施設がないので広域的活用になることから設置を要望したい。

湯浅秀夫さんから「身体障害者の授産施設及び盲ろうあ児施設について」、檜山管内は障害者が多く、企業に雇用することが困難な人達がいること、職業をあたえ自活することが望まれる。盲ろうあ児施設については、生活指導や職業訓練を受ける施設についてもご配慮願いたい。

藤村徳蔵さんから「支庁行政区域の変更について」、北海道拓殖時代より継承し現在に至っているが時代の変せんとともに、その態様も大きく変化している。住民の利便のためにも改善する必要がある。

河村昭夫さんから「観光開発のため狩場山系、メップ岳の遊歩道開設について」、週休二日制、労働時間の短縮により余暇時間の増大に伴い、観光、レクリエーション等健康を増進する施設が求められている。自然景観及び地域の特性を活かした、メップ岳の遊歩道、野営場、休憩舎、駐車場等の整備について積極的に推進してほしい。

伴　常雄さんから「国鉄瀬棚線の存続について」、北部檜山の産業経済、文化、福祉の大動脈としての貢献されているが、国鉄再建の犠牲対象として、第二次廃止路線計画に上げられている。特に、統合の高等学校もあり、通学不可能な地域となり、父兄の経費も増高されます。地域住民を挙げて反対しているので知事の格別なるご配慮を賜りたい。

以上の意見や要望がありました。これ等に対し、堂垣内知事から



移動知事室の開催についてあいさつをする堂垣内知事

ローカル線の廃止問題については、絶対反対を申し上げている。農業問題については、東北とちがい北海道の場合は専業農家であることを農林大臣にも申し上げており、水田再編に伴い畑作機械が必要となり借金をつくってしまう。政策的にもわけるべきであり、畑作共済とは「きりしてほしい。最近、農林省に北海道農業対策室を設け、道から職員を派遣し、北海道の農業がどうあるべきか、複合経営、明るい農業、農業の方向を協議しております。

水田負債資金制度については新たなものは難しく、経営の実態に即した合理的な資金運用をしてはしい。シストセンチュウについても心配をかけないようにしたい。

農地取得資金については努力します。三年連続の凶作であるが、全道的には豊作であります。

天災資金の要請をしており近日中に発表、農地流動化の促進については、当初三十五億円であったが四十五億円に枠を拡大しております。

林産業の拡大については、木材を利用するよう進めている。民有林等、林業資金の緩和、償還期限の延長、三十五年を五十年に、森林基金、造林、保育等の実現にむけて努力したい。

渡辺さんの件については、改善に努力したい。

婦人文化会館については、婦人の地位向上にも良いことであり、檜山地域にも作ることができるので、どこに決めるかが問題で、支庁と協議してほしい。

福祉問題については、町に補助してまいりたい。

支庁の行政区域については、道南の史跡を生かしたい。

メップ遊歩道については、レクとしても必要であり、野営場についてはダム関連にもでていたがメップ岳の遊歩についてと以上概要ですが述べておりました。

みんなで明るいお正月を

歳末たすけあいに皆様のあたたかきご協力をお願いします。
期間12月1日～12月20日まで
56年度は、880,079円の義援金をいただきありがとうございました。
受入窓口　社会福祉協議会

体力づくり公開研究発表会

文部大臣表彰に輝く

3ヶ年の実績



今金小学校において、十月八日に公開発表会が催されました。

昭和五十五年度に文部省の指定を受け、体力づくりの推進校となり、「一人ひとりに確かな体力を」、自分の体力を知り、工夫しながら楽しく体力づくりにとり組む子供の育成を目指して実施されました。

今年度が最終年次の三ヶ年目をむかえ、催しの運びとなったものです。

今小体操をつくり、四季の代表的なスポーツを構成し、春は「運動会」、夏は「水泳」、秋は「ボール競技、アスレチック利用」、冬は「スキー」を実施してきました。結果をみると、運動能力については「走力、走り幅とび、ソフトボール投げ、斜め懸垂腕屈伸、ジグザグドリブル、連続さか上がり」。体力については「敏しょう性、瞬発力、筋力、柔軟性、持久力」。体位面については「ふとりすぎ等が全校の十五%であったものが二ヵ年目では、一%の減を示している」。

総体的に見ると、全国平均に達し、その種目によっては、全国平均を上回っていることの成果報告がありました。

先生から、これを機会に継続し「楽しいなかで、がんばるたくましさを育て、やりとげる喜びも教えたい」と話しておりました。

講師 別所毅彦氏を招き

その後講演があり、講師として、プロ野球解説者であります、別所毅彦氏を招き、「この道一筋に」!!と題して一時間四十分にわたり講話があり、体力づくり、スポーツの指導については、自からが経験の上に立って指導することが最適である。それには、反省的精神にもとづき、倫理感、先見法を身につけ自己を研さんすることであり、能力の限界に挑戦することによって、その行動力に自信が生まれる。

人生のポイントは、ファイトであり、練習するなわち基本にかえること、熱い心、親切な心、本当の愛、人間的なふれあいが生まれ、これが倫理感につながってくることである。

人間の意識とは「たましい」であり、人間とは「物体」からできている。心は無限性であり、仕事に対する場合でも情熱がなければならないこと、体力がなければならないことである。

人間は、想念から成立っており、木に例えるならば、根すなわち心である。先生とは指導者であり、太陽であり、水であります。

労働奉仕、精神奉仕することにより木が伸び、根が伸び、丈夫な木が育つのではないか。真の事を得ることができない。魂の向上を図るには、真をつくし、指導にあたってはしいと話しておりました。


体力づくりも楽しく


講演をするプロ野球解説者 別所毅彦氏

農林水産大臣から感謝状

「統計の日」十月十八日函館統計情報事務所において、近藤利光さん（鈴金）が十カ年間にわたり農家経済調査員として、函館統計情報事務所北檜山出張所において、安藤優さん（神丘）が五カ年間にわたり、それぞれ功績されたことに対し、農林水産大臣から感謝状と記念品が贈られたものです。

この調査は、農家経営に要する諸経費を記帳報告、経費を分析、国が調査しているものであります。

住みよい郷土発展に

功労、善行表彰式



功労、善行表彰風景

町勢発展に功献くださいました方々に対し、表彰式が十一月三日文化の日に、町民センターにおいて催されたものです。

これは、町の表彰条例にもとづき表彰したものであります。

功労表彰

辻　理氏（七十一歳）本町

昭和三十二年から今金町選挙管理委員三期十二年間、昭和四十九年から今金町公平委員五年、さらに町国保運営協議会委員を歴任するなど、今金町の発展はもとより地方自治の振興に寄与されたことによるものです。

伊藤一治氏（六十六歳）金原

昭和二十二年から今金町議会議員一期四年、昭和四十三年から今金町教育委員に就任四期十四年間にわたり今金町発展、地方自治の振興に寄与されたことによるものです。

清水健次氏（六十一歳）、種川

昭和二十六年から今金町議会議員二期八年間、昭和三十二年から二年間町農業委員会長、さらに昭和四十六年農業委員に就任し、昭和四十七年から町農業委員会長十年等、今金町発展、地方自治の振興に寄与されたことによるものです。

善行表彰

杉本省吾氏（七十四歳）今金

多年にわたり芸術文化、鄕土史研究等の振興に寄与され、今金町文化協会長、今金町地域大学学長など歴任、町の公益事業に尽力されたことによるものです。

小池種一氏（七十三歳）今金

戦前戦後を通じ多年にわたり、町内会長として町内会長の育成発展に寄与され、今金町部落町内連合会会長、体育協会役員など歴任し、町の公益事業に尽力されたことによるものです。

白石光喜氏（六十八歳）今金

多年にわたり福祉に寄与され、民生児童委員、社会福祉協議会長、交通安全指導員など歴任、町の公益事業に尽力されたことによるものです。

大倉行雄氏（六十八歳）今金

多年にわたり社会福祉活動に貢献され、保護司、今金町手をつなぐ親の会々長、道民会々長、今金町部落町内連合会長など歴任、町の公益事業に尽力されたことによるものです。

伊藤トミノ氏（六十五歳）今金

多年にわたり社会奉仕活動に貢献され、保護司、光の里理事、日赤奉仕団委員長など歴任、町の公益事業に尽力されたことによるものです。

社会自立をめざして

檜山管内心身障害児教育研究会

今金光の里学園、今金小学校、今金中学校において、十一月十一日十二日の両日にわたり、心身障害児の社会自立をめざして、心身障害児の可能性を伸ばすための指導法を研究し、管内心身障害児教育の充実、向上を図ることを目的とされ、心身障害児のよりよい発達を保障する教育をどのように計画し、実践するかのために公開授業研究会が催されたものです。

光の里学園では、「今金ひかり太鼓」を題材として設定、日本古来の伝統的な打楽器、その響きにより人間の心を開き、喜怒哀楽を素直に表現し、生活のリズム化につなぎ、地域社会との交流を深めること、園生の欲求不満、劣等感、心のゆがみを解消させ、豊かな心と自己実現を助長し集団の一員としてのであります。


光の里学園による「ひかり太鼓」授業風景

体協35周年記念

より一層の飛躍





体協功献者の表彰風景

「心と心」



光の里学園に来園されたマイヤー・スザンナーさん

国際交流センターから派遣、光の里学園に来園され、看護婦さんとしてボランティア活動をされております、マイヤー・スザンナーさん二十三歳スイス生まれ、園長榮谷さんに、十月一十五日から五十八年九月まで在住される予定になっているそうです。

光の里学園にこうした人がこられるのは、二人目とか、フランス語とドイツ語しか話せなく、「日本語がチョットだけ」とのこと、大変なようです。

なお社会生活につながることからも身近な関心のある素材を取り上げ、説明文を正しく読み取る力をつけ、仕上げる喜びを知ることに配慮して設定されたものでした。

児童生徒、園生も楽しみながら熱心にやっておりました。

今金中学校では、「山のぼり人形」を題材に、中学校の場合は、卒業して社会生活につながることからも、「おめんをつくろう、紙の変身」を題材として、紙を切り、作ることに喜びを感じさせる知り、身近な動物や昆虫などの面を作り、自分で作ったお面に自信と満足感をもたせること、細意工夫をだいにたにし、伸び伸びと自己の表現ができるようにと計ご

■豊寿園からのお知らせ

豊寿園では、在宅ネタキリ老人に入浴サービスをいたします。

◎入浴日は、毎週　火、金曜日

◎入浴時間は、午後三時前後までに来園されること。

◎送迎はいたしませんので家族同伴すること。

◎寝間着さんが協力してくれます。

◎希望があれば入浴後の宿泊もトの休憩利用も可能です。

◎指定日の入浴人員は、二～三名程度ですので

お問い合わせ、申し込みは、役場内　社会福祉協議会事務局

■昭和五十八年第一回保母試験の実施について

◎受付期間　十二月一日～十二月十五日までの消印があるもの

まで有効

申し込先は、檜山支庁福祉課

檜山郡江差町字緑川町三六六三

〒〇四三　電話〇一三九五―二一一〇

〔6〕

健康に対する意識

国は、昭和三十八年以降毎年国民の健康に対する意識調査を行なっています。今回は昭和五十五年の結果をお知らせします。

(1)健康感

自分の健康状態を「ふつう」と答えた者は、五十三%で最も多く、次いで「健康である」三十二・六%、「健康でない」十一・八%である。性別にみると、男は女に比べ「健康である」が多い。

(2)自覚症状

一ヶ月間の体の具合を自覚症状についてみると、自覚症状全く「なし」と答えた者、男二十三・三%、女十七・七%で、高年齢になるに従って自覚症状「なし」が減少し、自覚症状の個数が増加してくる。

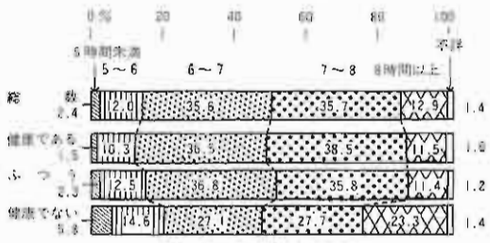
種類別にみると、男女とも「疲れたと感ずることが多い」「こまかいことが気になる」などが多く出現している。

(3)睡眠時間と健康

一日の睡眠時間は、男は「七～八時間」が最も多く三十七・七%、女は「六～七時間」が最も多く三十七%で、女の睡眠時間は男に比べ短くなっている。

睡眠時間と健康感との関連をみると、図のように「健康でない」者は「健康である」者に比べて「五時間未満」と「八時間以上」の割合が多く、一方「健康である」者は、「六～七時間」「七～八時間」の割合が多い。

図4　健康感別にみた睡眠時間の状況



資料　厚生省「国民健康生活基礎調査」

(4)喫煙の状況と健康

現在喫煙している者は、男六十七・一%、女十一・六%で、「今はやめているが以前は吸っていた」者は男十二・一%、女二・一%である。昭和四十一年に比べ、男は全年齢階級を通じて減少し、女は中高年層では減少しているが、若年層で増加している。

喫煙指数（一日あたりの喫煙本数×喫煙年数）別に健康感をみると、男では指数が高くなるに従って「健康でない」が増加する傾向がみられる。また喫煙指数と自覚症状との関連では、男は指数が高くなるに従い「動悸や息切れ」「疲れや咳」の出現率が高く、女では「疲れや咳」が高率になっている。

(5)健康維持法

自分の健康のために普段何かをしている者は七十五・七%で、その内容をみると、男では「睡眠を十分にとるようにしている」「食事に気を配っている」「スポーツ、その他運動をしている」が主な健康法としてあげられ、女は「食事に気を配っている」「睡眠を十分にとるようにしている」「よくよくしないようにするなど心の持ち方に気をつけている」が多い。また若年層は「スポーツ」、高年層は「食事」「睡眠」に注意している者が多い。

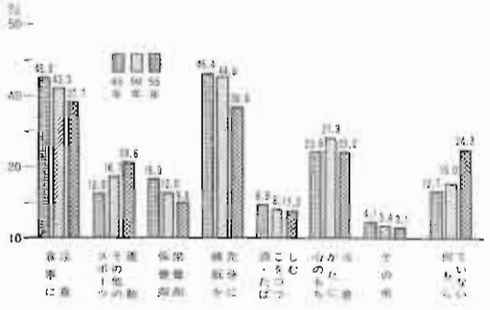
図のように、昭和四十五、五十年の結果と比べると「何もしていない」が著しく増加している。各種の健康維持法のうちスポーツだけは増加しているものの、それ以外はいずれも減少しています。

ところで、最近「健康づくり」と言うことをよく聞きますが、皆さんは、健康づくりのために何をしているでしょうか？　健康づくりは、たえず積極的になり続けなければ、いくらでもありません。三日ぼうずにならないように自分の体の状態に注意しながら自分の肌に合ったものを、長くつづけることが大切です。

皆さんも、健康づくりに積極的に参加しましょう。

図六　健康維持法の年次推移

（昭和四十五、五十、五十五年）



保健の窓

福祉課保健係

社会福祉協議会だより

団体名、又は個人名	住所	寄贈内容	寄贈先
中川浜吉郎	柳川町	¥50,000	豊寿園
商工会婦人部	八幡町	¥10,000	〃
〃	〃	¥30,000	光の里学園
〃	〃	花器3個	豊寿園
〃	〃	座布団16枚	豊寿園
今金由美電話電報電話局	今金町	¥100,000	〃
北日本電線労働組合檜山支部	大曽町	大根300本	〃
大倉喜八郎	瀬棚町	小型石油ストーブ1基	小合保育園
檜山かんぱん株式会社	江差町	¥6,000	光の里学園
北日本電線労働組合檜山支部	江差町	¥3,000	光の里学園
大倉喜八郎	瀬棚町	こうじ1kg	光の里学園
野口製めん店	瀬棚町	詰合せセット1組	光の里学園
伊藤正一	北檜山	うすあげ（中古品）	光の里学園
藤岡信	今金町		

〔7〕

命を大切に

安全作文に入選

今金小学校の山田奈緒美さん四年が全道作文の部で見事佳作に選ばれました。

この伝達式が十一月十一日に檜山教育局新田次長から賞状と記念品が贈られました。

題名は、「歩行者の交通安全」と題して応募、文章構成、表現がすぐれていることから選ばれ、全道応募点数七十一点中から選ばれたものです。

文部省、全国安全会議、日本学校健康会が七月一日を「国民安全の日」と定め、健康かつ安全で幸福な生活を目指し、人間一生の願いであり、学校教育の重要な目標の一つであります。児童生徒の事故災害が依然として相当数が発生、生命の尊重、人間尊重の精神を基本とする安全について、社会、学校においても強調の必要性があることから、実施されているものです。



賞状の伝達を受ける山田奈緒美さん

モダンな学校

美利河小学校落成式 開校八十周年記念

ダム関連により移転となった学校が今回落成、開校八十周年を併せて、記念式典が十一月七日に新築校舎において開催されました。

ダム建設に伴い町外に転出した人達や同窓生、町代表者を招待、百二十人が出席、備されました。

校舎の概要

鉄筋コンクリート平屋建、五教室、一図書室、一職員室、体育館等、延五九六・四平の規模であります。

教室は、床下電気暖房カーペット敷と粋な学校が完成し、生徒達がおおよろこび、式場で一人づつお礼を述べておりました。



美利河小学校 新校舎

高額療養費

!!昭和五十四年九月診療分から変ります!!

昭和五十七年九月より三万九千円から四万五千円に改定され、五十八年一月から五万(千円になります。これは一人、一ヵ月、一つの病院・診療所(医院)について四万五千千円(以上一部負担金を支払った場合にはその金額を超えた分を国民健康保険であとから払いもどしをするものです。

ただし、低所得者(住民税非課税世帯)と七十歳以上および六十五歳以上の寝たきり老人については現行の三万九千円がそのまま適用されます。

◎自己負担額の計算基準

●暦月ごとに計算……●病院・診療所(医院)ごとに計算……●歯科は別……●入院と通院は別……●総合病院は科別……●差額ベットや付添い看護料はだめ……



詳しいことは、福祉課国民健康保険係まで



新校舎落成の喜びを語る美利小生徒

命は一つ
踏切の
一時停止
交通事故に
気をつけて

精神的豊かさ求めて

第十三回総合文化祭

総合文化祭が十月三十日三十一日の二日間にわたり展示部門が開催されました。

絵画二十五点、写真三十点、俳句十七点、和紙人形、さやか人形四十五点、婦の会による簡単にできる楊枝入れの作り方を参観者に教えたり、プレゼントをしたり、なかなかの人気であったようです。

華道六十五点、フラワー七点、書道百六点、光の里園生による作品百三十点の参加があるなど、文化財では、軸もの等七十六の珍しいものが展示、教職員、会員以外の一般参加作品があるなど文化祭の定着化と高揚の表れだと思われます。

お茶会も客の切れ間がなく、最終日とあって、会場閉館時間の延長をしたほどでした。

料理バザーについても大変好評で、品切れとなる状態でした。



コールマミーによる熱唱風景



民謡クラブ初のリサイタル



音でうったえる狩場太鼓グループ



きれ間ないお茶会風景

天候に左右される箱の部門では、作品づくりにご苦労されたようです。

十月三十一日には、将棋、囲碁が実施、将棋熱は小中学生にまで浸透、年々人数が増えてきております。十一月三日は、文化部門の百人一首や芸能部門の発表があり、詩吟、琴、コールマミー、民謡、狩場太鼓と盛りだくさん。

民謡部門では今回初のこころみとして、三味線や尺八の演奏がなされました。おのおのが特訓や研修を重ね、やっと皆様に披露するまでとなったようです。

との文化祭部門別行事をみても、いずれも会場せましのにぎわいぶりと資質の向上、アイディアにとんでおりました。



紙人形づくり、楽しく
楊枝入れの指導を受ける人達

広報 声



読者からの投稿

「十月号町広報後段に役場にききたいことがあればご連絡ください の記事を拝見して日頃の心を率直に申し上げますのでかけ値なしに記事にするよう何等かの方法で是非実施法を要請いたします。

国保病院の受付窓口事務を明るくするために診療券を発行してほしい。これは森山歯科医でも、函館の病院でも気のきいたところでは発行しているのでございます。

これは、病人になって毎日時間をつぶして診療に出かける人でなければ私の訴えの趣旨はわかってもらえないかも知れませんが、普通の頭をもっている普通の者ならば解ってもらえるのではないかと思います。

診療をスムーズに且つ明朗に受付けしてもらって気持よく診療をしてもらえることになり、今金の田舎でも開けた都会同様、気持よい診療をしてもらえるのではないかと思います。

遅く行って早く受付している者、受付を待っていながらブツブツは毎日のよう。不明朗ないやな気持を持っているのは、今金町民以外の他部落からの病人もいやな気持で今金町の無能と量見のせまさにあきれていることでしょう。

診療券のことは以前から私が提言して実施しようとしたものですが何だかんだと文句をたらして一向に実現しようとしないのです。

係が私に言うことは、自分達もそれをやろうとしたがうまくいかないので止めたんだと、だからやれないとこう言うことで私も一時あきらめましたがやれると思うし、まことに良いことなのであえて提言する。

外にある木の時計は誰れかの寄贈でしょう。動かなくなっています。直して下さい。皆ながよろこびますよ。」

以上原文どうり

日の出町　荒良木寛資

回　答

診療整理券の発行については、以前実施しておりましたが、やむなく中止、その理由は、

◎整理箱を用意しておくと前日に入れておく人

◎他人の分まで診療整理券をもってきて入れる人

◎診療整理券を忘れてくる人

様々な弊害があります。都市の病院では、再診療、新患、薬等に分類し人間をおいております。

小さな町の病院では、人件費の問題等があり人員を増やすことが難しいこと、例えば、診療券を忘れてきた人の場合を例にとると、診療券を取りにゆけとは言いがたい面があります。

整理番号札の交付も検討してみましたが、やはり番号札のためにまた列ができることです。等、諸々の事情によることから自治体経営の国保病院では、診療券の交付を中止している状態です。

更に遅くきても、早くやってもらうという人については、

◎患者の状態によって、急患処置をするとき、注射だけの人、等によって早くなることがあります。

役場横に取りつけてある時計の件については、もうすでに耐用年数が経過しており、古い型であることから部品がないこと、存続させるとなれば、全部取替え、新しくしなければなりません。

現在、全廃するか新しくつけるかを検討中です。

受付番号札の発行についても再度検討いたします。

「現在国民年金を受けておりますが、以前農業を経営しておりました。数十年前主人を亡くしてしまい、わたくしも年齢のため離農しておりますが、農地が残っております。

この農地を売りたいと思います。その場合、一時所得として税金がかかるのは知っておりますが、一時所得があっても国民年金を受給することができるのか心配です。」

町内　主婦

回　答

掛金を支払い、国民年金の受給対象となっている方は、所得金額に関係なく受給することができます。

「町内の主婦ですが、現在パートで働いておりますが税金はどうなるのですか。」

町内　主婦

回　答

配偶者として控除を受けられる所得限度額は、七九〇千円です。これを超えると年収一、二五〇千円までは一律に五〇〇千円が所得から控除され、残りの七五〇千円に対し一〇%程度の税金（七五千円）が課せられます。

それによって世帯主に係る税金は、配偶者控除、国税では、二九〇千円、町道民税では、二二〇千円が配偶者として基礎控除となっておりましたがこれがなくなり、控除対象額二九〇千円に対し一〇%程度（三〇千円）が世帯主に加算されます。

交通安全は家庭から

役場ではこの度、ご飯しゃもじに「交通安全家庭」と印刷したものを各戸に配布、米の消費拡大を併せてアッピールすることになりました。



各戸に配布されるしゃもじ



わが家のアイドル

柏田泰明さんの長女（楠穂）

ともみちゃん　56.12.11生（11ヵ月）

いまできることは、バイバイとヨチヨチ歩き、そしていい顔はと言うとニッコリすること。最近、お母さんの手を借りて伝い歩きができるようになりました。

顔はあっちに似たりこっちに似たり、やっぱり両方に似ていると……

『訓練』災害発生

今金電報電話局防災訓練



支柱立てに汗を流す電々職員

災害発生を想定のもとに、十一月五日旧今金中学校跡地において訓練が実施されました。

折り悪く、天候も不順で肌寒い一日でしたが職員は懸命にかんばっておりました。

想定内容は、電話線が切断、電話柱も使用不能、まずは、穴堀りから始まり、機械堀ができないところは手堀りをし、電話柱立ての作業、通信の訓練が実施されました。

表石を寄贈

種川の黒須隆三郎さんが、豊寿園と光の里学園に、御影石でできた、高さ二二幅二二のものを寄贈されました。

これは、黒須さんが、民生委員をしていることから、何か人のためになりたいとの思いからされたものです。



寄贈された豊寿園前の表札

町民センター『図書館だより』新刊案内

（一般図書）

生島　治郎＝夜明け前に撃て
〃　＝悪意のきれっぱし
吉川　英治＝吉川全集（八）
川端　康成＝川端全集（二十四）
曽野　綾子＝無名碑
太田　愛人＝大地からの贈物
連城三紀彦＝戻り川心中
志茂田景樹＝黄色い牙
北方　謙三＝眠りなき夜
〃　＝弔鐘はるかなり
阿刀田　高＝恐怖コレクション
谷口　清超＝病いが消える
〃　＝日本よ永遠であれ
早川　一光＝わらじ医者京日記
〃　＝続わらじ医者京日記
高野　澄　＝歴史に学ぶ老いの知恵
福地　盛　＝熟年は燃える
花岡　大学＝限りある命を生きる
穂積　隆信＝積木くずし
足立　守三＝喋野に祈る
笹子　勝哉＝頭取を罠にかけろ
矢崎　藍　＝小説、母親の条件
渡辺喜恵子＝タンタラスの虹
佐々木隆三＝右の腕
松本　清張＝疑惑
夏樹　静子＝碧の墓碑銘
三好　徹　＝欲望の棲む街
中山あい子＝地獄花
三好　京三＝分校日誌
三神　良三＝逆境に克った九人の男
谷　恒生＝錆びた波止場
西村京太郎＝無名剣走る
石井　清子＝（訳）人はふさわしい死を死ぬ
吉田　時善＝地の塩の人
大田　蘭三＝赤い雪崩
谷口　清超＝いのちが燃える

（児童）

遠藤一夫・日高敏隆＝算数と理科の本（三十）人と自然の二十四時間

■郵便局からのお知らせ

○年賀状の受付は十二月十五日から始まりますが、なるべく十二月二十日までにお出しください。

○お年玉つき年賀はがき以外のはがきを年賀状としてお出しになるときは、表面に「年賀」と朱書してください。

○お年玉つき年賀はがきとそれ以外のはがきは別々にし、市内、道内、道外など方面別に簡単な表札を付し、十文字に束ねてお出しください。

○年末小包の差出しは十二月三十一日まで引き受けをしています。

○年末の郵便振替のご利用について、例年十二月は、郵便振替での決済、送金事務が非常にこみあいますので郵便振替口座への払込み、現金払出し、口座振替のご利用は、十二月中旬までに手続きを……。

■12月の休日当番医

5日	今金町富田医院	☎②0324
12日	〃 国保病院	☎②0221
19日	瀬棚町樽崎医院	☎④3022
26日	北檜山町国保病院	☎④5321

■交通事故相談所の案内について

全国54ヵ所に「自動車保険請求相談センター」を設置し、自動車事故による自動車損害賠償責任保険並びに任意自動車保険（対人、対物、車輌）の請求について、一切無料でご相談をお受けしております。

交通事故でお困りの方、お気軽にご利用ください。

お問い合わせ先

○札幌自動車保険請求相談センター、札幌市中央区北1条西3丁目（札幌東京海上ビル3階）
電話代表 222～3331　直通 251～3731

■年末年始のし尿及びごみの収集計画について

12月中にし尿の収集を希望するときは、12月15日までに申し込み願います。

◎ごみの収集

収集車の巡回は、12月30日（木）平常どおり，12月31日～1月2日まで収集休み。1月3日（月）から平常収集。なお、1月3日から8日までは第一週とします。

■国の進学ローンのご案内

来春の進学されるお子様の進学資金としてお気軽にご利用ください。

◎ご利用いただける方

高校、大学等に進学されるための資金（入学金、授業料、受験費用等）を必要とされる方

◎融資額

一進学者あたり50万円以内

◎利率　年8.2%

◎保証人　1名以上

◎取扱期間　57年11月～58年4月

合格前でも申し込みはできますが、融資は合格後となります。

◎取扱機関

国民金融公庫　銀行　相互銀行　信用金庫　信用組合　労働金庫　農協　漁協の各窓口

◎お問い合わせ先

国民金融公庫函館支店　進学ローン係
函館市豊川町20－9　電話　0138(23)8291

自衛隊員を年間とうし募集受付いたしております。

自衛隊今金分駐所か
役場町民課まで

発　行／北海道今金町役場
Tel(代)②0111番
編　集／企画課広報係

住民の動態

		前月対比
人口	8.871	人（＋2）
男	4.313	（－2）
女	4.558	（＋2）
世帯数	2.603	（＋2）

◎おたんじょうおめでとう

織田祥吾	8月6日	（磁　長男）	大和町
石川　潤	10月20日	（隆　長男）	種川
樋口洋輔	10月15日	（芳男　長男）	豊田
中村祐子	10月16日	（和鴎　長女）	南栄町
熊沢みゆき	10月18日	（誠　2女）	種川
黒沢朱子	10月23日	（仁　長女）	南町
芳賀元基	10月24日	（美由　長男）	寒昇
川合博子	10月27日	（文夫）3女）	八鈴
伊藤聖恵	10月28日	（利忠　2女）	中里
南川妙子	10月29日	（勝己　3女）	南栄町
安達泰策	10月30日	（栄一　2男）	種川
芳賀健太	11月1日	（常夫　2男）	南豊受

◎いつまでもおしあわせに

村松亮治（南町）＝竹内律子（南町）
南谷美芳（大和町）＝山浅浩子（旭町）
中野秀一（末広町）＝野口美雪（江別市）
垣本潔（八東）＝小山幸子（花石）
中野孝之（神丘）＝安藤真由美（神丘）
山田正直（御影）＝盛田弘子（鹿部村）

◎おくやみもうしあげます

伊藤政美	10月23日	23歳	旭町
森　作蔵	10月28日	73歳	種川
鈴木義夫	11月1日	19歳	春日井
沼尾正雄	11月3日	62歳	御影